

24	自動運転等の先行実装のためのデジタルライフライン整備事業		URL	https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/digital_architecture/lifeline.html			
	事業実施主体 (対象者)	支援対象・内容		補助率等	公募時期	事業要望調査時期	
民間事業者	ソフト		3月頃			12,687 (百万円)	経済産業省 情報経済課 03-3501-0397

～人手不足でも人・物の移動を止めない～
自動運転サービス支援道の設定



新東名高速道路 駿河湾沼津-浜松間
約**100km** 等

- ✓ 道路・車の高度な連携で、自動運転トラック・自動運転移動サービスを社会実装。
- ✓ 労働力不足で荷物が届かなくなる、移動手段がなくなる、などの社会システムの崩壊を防ぐ。

共通基盤に基づいた空間情報提供システム等

～点検や物流の変革、災害時の緊急対応に～
ドローン航路の整備



埼玉県秩父エリアの送電網
約**150km** 等

- ✓ 人手不足に悩む点検や物流業務を、ドローンの安全・高速な自動・自律飛行で解決。
- ✓ 道路が寸断されるなどの緊急災害時にも即座に対応。

共通基盤に基づいた航路情報提供システム等

～省人化や効率化、迅速な災害復旧に～
インフラ管理のDX



さいたま市、八王子市等の都市
約**200km²** 以上等

- ✓ 通信、電力、ガス、水道等、地下のインフラ設備のデジタル地図を整備。
- ✓ 老朽インフラの迅速な更新に貢献。
- ✓ 点検・工事に関わる人員を省人化。

共通基盤に基づいたデジタル地図等

分野を横断して下支えする共通基盤の例：空間ID

- ✓ 異なる基準の空間情報を統合・単純化し、機械の高速処理を実現。
- ✓ 地理空間情報活用推進会議等において、関係省庁の取組と連携。
- ✓ DADCにおいてシステム全体の見取り図（アーキテクチャ）を設計し、それを踏まえて民間事業者等がシステム開発を実施。

25	遠隔医療設備整備事業	URL	HP・事例等 https://www.mhlw.go.jp/stf/index_0024.html				
			事業実施主体 (対象者)	支援対象・内容	補助率等	公募時期	
	都道府県、市町村、厚生労働大臣の認める者	ハード	2分の1	2月下旬		140 (百万円) ※医療施設等設備整備費補助金のメニュー予算	厚生労働省 医政局総務課 03-3595-2189

1 事業の目的

この事業は、情報技術を応用した遠隔医療を実施することにより、医療の地域格差を解消し、医療の質及び信頼性を確保することを目的とする。

2 事業の概要・スキーム

情報通信機器を活用して病理画像・X線画像等を遠隔地の医療機関に伝送し、専門医の診断・助言を得ることで、適切な対応を可能とする。また、患者の通院負担軽減や医師の移動負担軽減、医療資源の柔軟な活用などの観点から、情報通信機器を活用して、医師と患者間における遠隔地からの診療を行う。

